

だし丸くんレポート ～スーパー能「世阿弥」半田公演特別編～

第16回

スーパー能「世阿弥」作者・梅原猛からのメッセージ

私は仙台で梅原半二千代の子として生まれたが、赤子のときに千代が亡くなったため、半二の兄であり知多郡内海町（現南知多町）にある梅原本家の当主で子のなかった半兵衛・俊夫婦に引き取られ、半兵衛夫婦を父母と思つて育つた。

俊は半田市の美濃半葉局の娘であり、明治の文豪、尾崎紅葉の高弟である小栗風葉の妹であつた。少女時代、東京の風葉の家で暮らしていた彼女は、新進鋭の評論家、生田長江に恋をされたために、堅実な父・小栗半左衛門から「やくざ者は風葉一人であつた」と半田へ呼び戻され、半兵衛のもとへ嫁に出されたという。

半二はその後のいろいろあつたが、豊田喜一郎氏に出会つてトヨタ自動車に迎えられる、トヨタ自動車の技術の基礎を築くのに貢献した。

その半二に似て私は数学が得意であつたが、心に深い闇を抱えたことから文科系に進み、哲学を専攻した。そしてひょんなことから三代目市川猿之助演出のスーパー歌舞伎「ヤマトタケル」の原作を書いたが、「ヤマトタケル」は大当たりし、今や古典になつた

といわれる。能について、私はこれまで「河勝」「世阿弥」「針間」の三作を書いた。

世阿弥は晩年、將軍足利義教の怒りをおこつて佐渡へ

流罪になり、世阿弥の子、元雅は殺された。私は、元雅は父を助けるためにあえて自ら死を選んだと考へ、この父と子の悲しい愛情の物語を一片の能にした。

「世阿弥」がわが故郷で上演されるのは嬉しいことである。俊の霊もきつと公演を見にきて「おまえは坪内逍遙のように劇作家になつたか。劇作家のほつが小説家より操行がよいようだ。タケシ、よくやつた」と言つてくれるにちがいない。

哲学者の梅原猛さんが書き下ろした現代語の能、スーパー能「世阿弥」半田公演を2月に雁宿ホールで開催するダシ。だし丸くんレポート～スーパー能「世阿弥」半田公演特別編の最後は、半田公演に向けて、作者の梅原猛さんからのメッセージダシ!



梅原 猛

大正14(1925)年、仙台市生まれ。京都大学文学部哲学科卒。立命館大学教授、京都市立芸術大学学長、国際日本文化研究センター初代所長などを経て、現在、同センター顧問。日本ペンクラブ会長も務めた。平成11(1999)年、文化勲章受章。

2月1日から雁宿ホールで、梅原氏に縁のある南知多町、碧南市、半田市の観光PRなどの展示をします。また、公演当日には3市の特産品などを販売しますので、ぜひご来館ください(特産品販売は、チケット購入者のみ入場可)。

スーパー能「世阿弥」半田公演

■日時 2月21日(日) 14時(開場13時30分)

■場所・問い合わせ 雁宿ホール(半田市福祉文化会館) ☎23-7331

■チケット 雁宿ホール、チケットぴあで好評販売中!(Pコード:444-805)

※S席は完売しました。

防災 Memo 15

走行中に大地震発生

できるだけ安全な方法により
左側に寄せて停止しましょう

- ・急ブレーキ、急ハンドルは避けましょう。
- ・引き続き車を運転するときは、道路の損壊、信号機の作動停止などに注意しましょう。
- ・やむを得ず道路に車を置いて、避難するときは、左側に車を寄せて止めましょう。
- ・窓を閉め、ドアはロックしないようにしましょう。
- ・エンジンを切り、キーをつけたままにしましょう。(※)

※緊急車両や救急車両の通行の妨げになった場合に、すみやかに移動させる必要があるため。



愛知県警察

●問い合わせ 半田警察署 ☎21-0110

